影の運動による色の捕捉現象その２

nakamura01blueにおいては円環状に配列された青○が順次入れ替わることによって生じる影の運動に捕捉されて、１２時と６時の２カ所に提示されたピンク○が時計回りの回転運動をしているように知覚される。実際はnakamura02に見られるように、ピンク○は上記２カ所に提示されているだけである。

円環の中心を凝視した場合、ライラックチェイサー同様、残像の回転運動も知覚されるが、影の運動に捕捉された色はライラックチェイサーの残像の色とは異なる。

特に、nakamura01redでは円環状に配列された赤○による影の運動においてもピンク○が捕捉される。この場合、ライラックチェイサーによる残像の色は青であるにも関わらず、回転が知覚される○の色はピンクである。

さらにnakamura01blue&redのように青○と赤○が半数ずつ円環状に配列されて生じた影の運動においてもピンク○が捕捉され、時計回りの回転運動をする現象が知覚される。

ライラックチェイサーとの違い

ライラックチェイサーでは周辺視および固視において生じ易いが、この色の捕捉現象では中心視でしかも追視条件において知覚される。また、ライラックチェイサーでは補色の関係にある色が知覚されるが、この現象ではそれとは異なる色で、提示されるピンクに近い色が知覚される。